

1. 単元名 地域全体で防災意識を高めよう～本当にその対策で安心？～

2. 単元の目標

- ・ 地震が起きたとき、どのように行動するかを考えることができ、自分や地域全体を守ろうとすることができる。 (知識・技能)
- ・ 調べ学習を積極的に行い、調べたことに対して批判的に考察し、発案することができる。 (思考・判断・表現)
- ・ 調べ学習を通して、自分にできることを考え、周りの人や地域の人と協力し、どのように地域に参画するかを考えることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

兵庫県朝来市では、1925年の北但大震災以来、大きな地震にあつたことがない。学校や地域で避難訓練などを行っているが、慣れが生じてしまい、震災に対する危機感が薄れてしまっているように感じる。阪神淡路大震災や東日本大震災を基に震災について知り、学校で行っている避難訓練を振り返ることを通して、地震が起きたときの自分の行動について考える学習を行う。また、地域全体での防災意識を高めるために、避難所を調べる活動を行う。調べ学習を通して、自分や地域を守るという意識を高め、いつまでも住み続けられる町づくりに参画しようとする態度を育めるような学習を進める。

(2) 指導観

地震を経験していない児童が多く、地震について自分事化できていない状況にあると感じる。そこで、阪神淡路大震災や東日本大震災を振り返ることで地震に対する知識を深めることから学習を始める。学んだ知識を基に、様々な場所で地震が起きたときを想定し、どのように自分を守るかやどこに逃げるかを考える。この学習を通して、自分事化を促していく。次に、家での防災対策について目を向け、「本当にその対策で安心なのか？」という問いの基、家での防災対策を見つめ直し、家族に提案するという活動を行う。これを行うことで、防災対策の必要性や震災に対する危機感を家族全体で共有できるのではないかと考える。次に、地域の防災対策について目を向け、避難所の調べ学習を行う。調べ学習を基に、その避難所の防災対策について考え、その防災対策を基に、地域の人と避難所運営ゲーム(HUG)を行う。地域の人と一緒にすることで、地域全体で防災に対する意識が高まり、児童の町づくりに参画しようとする態度を育む。

(3) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

連携性…家族や地域の人と協力して、防災について取り組むことが大切である。

責任性…地震について知り、防災・減災の大切さを学んで自分たちにできることを考え、自分の身

は自分で守ろうとする意識を持つ。

・本学習で育てたいESDの資質・能力

他者と協力する態度…グループ活動や意見交流を通して、他者の考えや行動に共感し、協力しようとする。

批判的に考える力…防災対策について考えるが、必ずしもこれが良いとは限らないという意識を持つ。

・本学習で変容を促すESDの価値観

世代内公正…自分の身は自分で守るという自覚を持ち、家族や地域全体とともに防災意識を持つ。

・達成が期待されるSDGs

11 住み続けられるまちづくりを

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 地震が起きたとき、どのように行動するかを考えている。 ② 地域全体で防災意識を持つために何ができるかを考えている。	① 調べ学習を積極的に行い、調べたことに対して批判的に考察し、発案している。	① 調べ学習を意欲的に取り組んでいる。 ② 調べ学習を通して、自分にできることを考え、周りの人や地域の人と協力し、どのように地域に参画するかを考えている。

5. 単元の指導計画（全13時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	○自然災害について振り返り、地震が起きたとき、自分の命を守るにはどうしたらいいかを考える。 ・避難訓練などの既存の知識を基に、地震が起きたときを想定し、考える。 ○地震に対する知識を深める。 ・画像や動画などを用いて、地震の知識を深める。 ・地震の情報や感じたことをまとめて整理する。	・今までの学習を振り返りやすくするため、「4年生社会科 自然災害から身を守る」の内容を振り返る。 ・ワークシート（※1）を配り、書かせることで児童の考えを明確にする。 ・怖さだけを与えてしまわないように工夫する。（地震の様子、体験した人の話、避難所生活の様子など）	△ア1 ・ワークシート
2	○様々な場所で地震が起きたとき、どのように身を守るかを考える。 ・授業中の教室や休み時間で遊んでいるとき、登下校中などを想定する。	・様々な場所で地震が起きたときの行動を想定させる。 ・学校→登下校中や公園で遊んでいるとき→家のように学校から地域に	△ア1

		焦点を当てる	
3	<p>○自分の家での防災対策を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に家の防災対策の調べ学習を行う。 ・各自の防災対策を共有し、改善案を考える（自分にできることは何かという観点で考える） 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習を行いやすくするためにチェックリスト（※2）を用いる。 	<p>△ウ 1</p> <p>△イ 1</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>本当にその対策で安心なのかな？</p> </div>		
		<ul style="list-style-type: none"> ・家も安全ではないとき、どこに逃げるかを問い、避難所に視点を移す。 	
4	<p>○避難所の安全性について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長先生や教頭先生に話を聞く。（どのように管理しているのかなど） ・体育館の避難所としての役割を知る。 ・体育館の安全性について調べる。（防災倉庫、収容人数、バリアフリーなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所としての体育館の役割を想像できるように、避難所生活の様子を映した動画（東日本大震災）を見る。 ・普段は子どもたちだけでは、入ったり、触ったりできないということを念頭に入れておく。 	△ウ 1
5	<p>○体育館の安全性や危険性をまとめて整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習の内容をまとめる。 ・調べ学習で感じたことや考えたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性と危険性、自分の考えの項目を設けたワークシート（※3）を活用することで、調べ学習をもとに考えたことを明確にする。 	△イ 1
6	<p>○体育館以外の避難所を調べる。</p>		△ア 2
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>他に避難所ってどこにあるかな？</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の避難所に行き調べ学習を行うため、事前に調べることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館と照らし合わせて考えられるように、体育館より規模の小さい避難所を挙げる。（集会所や公民館など） ・体育館で何を調べたかを振り返り、地域の避難所で調べることを考えさせる。 	
7	<p>○避難所の安全性について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所を運営している人に話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に考えた調べることを基に、調べ学習をさせる。 	△ウ 1

	<ul style="list-style-type: none"> 地域の避難所の安全性について調べる。(防災倉庫、収容人数、バリアフリーなど) 		
8	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の避難所の危険性や安全性をまとめ、整理する。 ・調べ学習の内容をまとめる。 ・調べ学習で感じたことや考えたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性と危険性、自分の考えの項目を設けたワークシート(※4)を活用することで、調べ学習をもとに考えたことを明確にする。 	△イ1
9 10	<ul style="list-style-type: none"> ○体育館と地域の避難所での調べ学習を基に、改善案(機能や設備、避難所生活など)を考える。 ・危険性や安全性を基に、改善案を考える。 ・二つの避難所の良いところを取り入れながら考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの避難所でグループに分かれて考える。 ・思いをもてるように、パンフレットなどの紙媒体で作る。 	△イ1
11	<ul style="list-style-type: none"> ○改善案を発表する。 ・発表を通して、改善案をより良くするための意見交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・悪いところだけではなく、良いところも述べるように促す。 ・意見交流後の残りの時間で改善案を修正する。 	△イ1
12 13	<ul style="list-style-type: none"> ○伝える。 ・避難所を運営や管理している人に伝える。 ○避難所運営ゲームをする。 ・想定外のことが起きたときのことを考える。 ・自分にできることは何かを考えて行う。 ○避難所運営ゲームの感想や意見を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人を学校に呼び、改善案を渡す。 ・小学校を舞台に先生や地域の人と一緒に避難所運営ゲームを行うことで地域全体に防災意識を持たせる。 ※校舎配置図、付箋、A4用紙、マジックペン、セロハンテープ、色々々な人の情報が書かれたカード(HUGカード)を用意する。 ・改善案と照らし合わせながら、意見交流する。 	△ウ2 △ア2
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">地震が起きたとき、自分に何ができるかな？</div>			
	<ul style="list-style-type: none"> ○地震に対する意識の変化を確認。 ・この授業で学んだことや考えたことを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート(※1)を配る。 	

※1

地震が起きたらどうする？

年 組 番 名前 _____

思いついたことや考えたこと

この授業を通して、考えたこと

チェックリスト

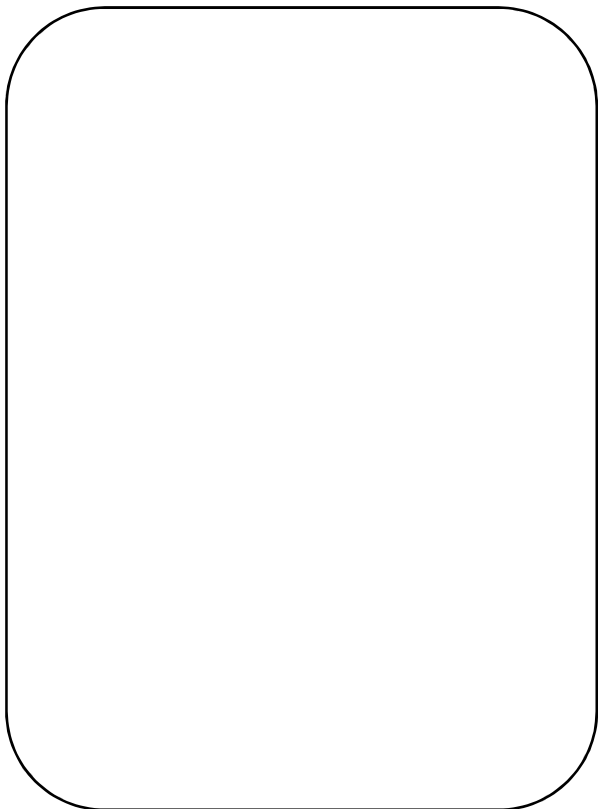
年 組 番 名前 _____

- 家具や冷ぞう庫などをたおれないようにしている。
- 応急手当の方法を知っている。
- 家庭用消火器具を設置し、家族全員が使い方を知っている。
- 住たく用火災けい報器を設置している。
- ひなん場所・ひなん経路を家族全員が知っている。
- 災害が起きたときの連絡方法や集合場所を知っている。
- 非常持ち出し品を準備している。
- その他 (_____)

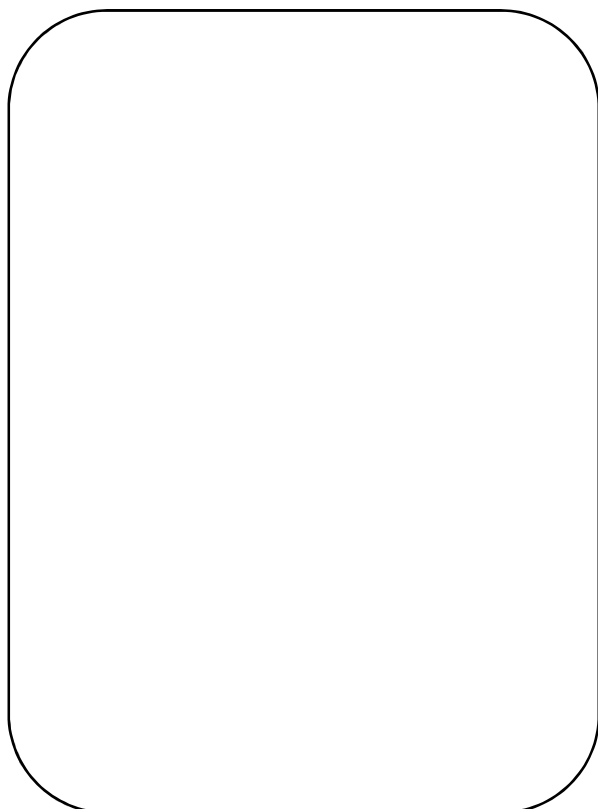
～まとめよう～

年 組 番 名前

○安全なところ



○あぶないところ



○感じたことや考えたこと

